

## 第5学年 総合的な学習の時間の実践

### 【つむぐ探しの旅Ⅰ】

- (1) 福島県内の特色ある産業について調べる。
- (2) 高原じゃがいもについてもっと知りたいという思いを基に、探究活動に出かける。



北海道のものと同じくらいおいしいじゃがいもが、なぜ福島県でつくれるのかな。



仕事が大変だから、家族だけでなく、近くの農家の方が協力して仕事をしているのだね。



西郷村の気候が北海道の気候と似ていることも、じゃがいもづくりがさかんになった理由の一つだよ。

### 【つむぐ探しの旅Ⅱ】

- (1) 農家同士、地域同士の協力について考える。
- (2) 話し合いを基に、「つむぐ探しの旅Ⅱ」の計画を立てる。
- (3) 川谷地区の高原じゃがいも農家を訪れ、実際に体験活動をしたり、話を聞いたりする中で、自分なりの目標や課題について追究する。



夏に来たときは、まだ葉があったよ。収穫の時期には刈り取るのだね。



広大な畑のじゃがいもを収穫するときにも、農家同士の協力は必要だね。



大きさをそろえるだけでなく、安心して食べてもらえるよう、検査もしているのだね。

### 【つむぐを発信しよう】

- (1) これまでの体験を通して、感じたり考えたりしたことを基に自分たちにできることの計画を立てる。(リーフレット、ポスター作成・ふみだす事業として)
- (2) リーフレットやポスターを基に、西郷村のじゃがいもをPRする活動を行う。



西郷村のいいところを知って欲しいのだから、県外の人がたくさん集まる場所でPRしたいね。

どんな方法でPRすると、分かってもらえるのかな。

西郷村のじゃがいも作りをPRするには、ポスターやリーフレットを作って、駅・高速道路のサービスエリアに設置してもらおうがいい。



福島駅、仙台駅、仙台駅前のアーケードでリーフレットを配りながら、西郷村のじゃがいも作りをPRしました。